

令和7年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価等報告書

点検・評価対象年度：令和6年度（2024年度）

令和8年2月
湯前町教育委員会

目 次

はじめに 点検及び評価の概要について	・・・・・・・・	P3
I 教育委員会の活動状況について	・・・・・・・・	P4
II 教育施策の推進状況について	・・・・・・・・	P10
1 学校教育の振興		
(1) 校内研修の充実と学力向上		
(2) 小中一貫教育の推進		
(3) 地域とともにある学校づくり		
(4) 人権教育の推進		
(5) 食育の推進		
(6) 学校教育施設・設備の整備		
(7) 奨学金の運用状況		
2 社会教育の振興	・・・・・・・・	P21
(1) 青少年の健全育成		
(2) 読書活動の推進		
(3) 人権教育の推進		
(4) 地域学校協働本部事業と家庭教育の推進		
(5) 社会教育施設の充実		
3 社会体育の振興	・・・・・・・・	P26
(1) スポーツ団体の充実と活性化		
(2) 体育施設の整備、維持管理		
(3) 湯前町スポーツ災害見舞金の運用状況		
4 文化財保護と文化振興	・・・・・・・・	P30
(1) 文化財愛護意識の向上		
(2) 未指定文化財の調査		
(3) 指定文化財の維持管理		
(4) 文化団体の育成		
(5) 湯前まんが美術館事業の充実		
III 指標の達成状況一覧	・・・・・・・・	P36
IV 学識経験者意見	・・・・・・・・	P38
V 資料等	・・・・・・・・	P41

はじめに

このたび、湯前町教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第 26 条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめました。

この点検及び評価は、令和 6 年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」に関して実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政に関する地域住民への説明責任を果たすことを目的としています。

教育委員会は、この報告書を議会に提出するとともに、地域住民に公表することとしています。また、この点検及び評価の結果を今後の教育委員会活動や教育施策に十分に反映させることで、本町における教育施策が、地域住民の皆様方の御理解の下に、適切・円滑に推進できますよう、取組の強化を図っていきます。

点検及び評価の概要について

1 点検及び評価の対象並びに実施方法

本報告書では、「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」についての点検・評価の結果を掲載しています。このうち、「教育施策の推進状況」についての点検及び評価の実施方法は、次のとおりです。

（1）取組・事業評価

「第 6 次湯前町総合計画」に掲げられた施策を構成する主な取組・事業等について、点検及び評価を実施します。

（2）施策評価

（1）の結果を踏まえ、令和 6 年度の施策の取組状況について点検及び評価を実施します。

2 点検及び評価の方法並びに評価の観点

点検及び評価に際しては、施策の必要性や効率性、有効性や公平性といった観点から客観的な評価がなされるよう配慮しています。また、対象となる施策を構成する主な取組・事業等の推進状況についての点検及び評価を通じて、施策自体に関する点検及び評価を実施することとしています。

3 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

地教行法第 26 条第 2 項が規定している「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、学識経験者からの意見書を求める方式を取っています。

なお、今回の意見書については、次の 3 名の方に執筆をお願いしました。

黒木 真也 氏	学校関係者（湯前町学校運協議会長）
苗床 由美 氏	社会教育関係者（湯前町婦人会長）（社会教育委員）
森下 一富 氏	社会体育関係者（湯前町スポーツ協会长）（社会教育委員）

I 教育委員会の活動状況について

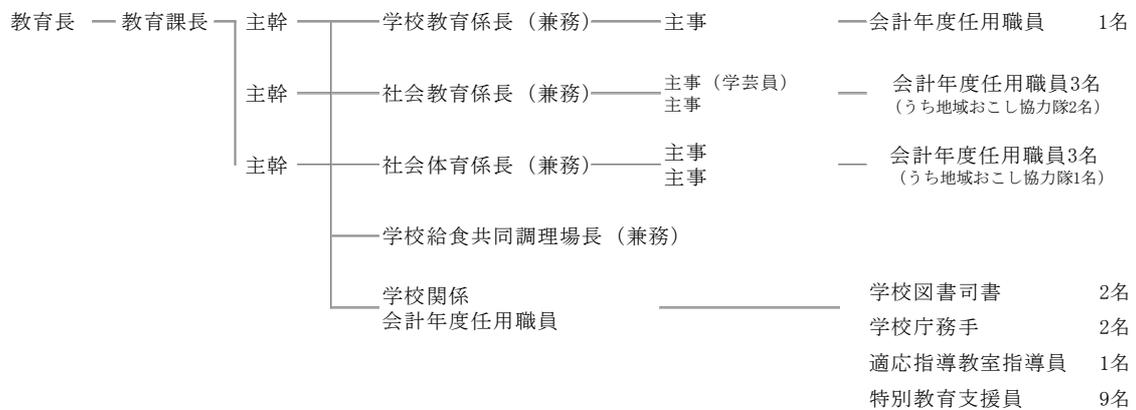
1 教育委員会組織

教育委員会組織（令和6年度）

（令和6年4月1日現在）

職名	氏名	現行任期		期数
教育長	中村 富人	R 4 . 7 . 1	R 7 . 6 . 3 0	2期
教育委員（職務代理者）	村井 信照	R 2 . 6 . 2 5	R 6 . 6 . 2 4	3期
教育委員	林 敦子	R 3 . 1 2 . 1 6	R 7 . 1 2 . 1 5	3期
教育委員	藤岡 祐子	R 5 . 1 2 . 1 9	R 9 . 1 2 . 1 8	2期
教育委員	堤田 秋男	R 3 . 2 . 2	R 7 . 2 . 1	1期

（参考：教育委員会部局組織図）



2 教育委員会の開催状況

(1) 定例会・臨時会

開催月	会議種	区分	番号	件名
4月	定例	議案	第12号	令和6年度湯前町立小中学校教育指導の重点と重点努力事項について
	定例	議案	第13号	湯前町文化財保護委員の委嘱について
	定例	議案	第14号	湯前町地域学校協働本部委員の委嘱について
	定例	議案	第15号	湯前町地域学校協働本部運営委員の委嘱について
	定例	報告	第5号	湯前町議会令和6年4月臨時会結果について
5月	定例	議案	第16号	令和6年度一般会計予算の6月補正について
	定例	協議	第1号	湯前小学校での不祥事について
6月	定例	議案	第17号	令和6年度就学援助費の認定について
	定例	議案	第18号	令和6年度特別支援教育奨励費の認定について
	定例	報告	第6号	湯前町議会令和6年第4回定例会について
7月	定例	議案	第19号	教育長職務代理者について
	定例	報告	第7号	湯前町議会令和6年第5回臨時会について
8月	臨時	議案	第20号	令和7年度使用中学校教科用図書の採択について
	定例	議案	第21号	令和6年度一般会計予算の9月補正予算について
9月	定例	報告	第8号	令和6年第6回湯前町議会定例会の結果について
10月	定例	議案	第22号	令和6年度一般会計予算の10月補正予算について
11月	定例	議案	第23号	令和6年度一般会計予算の12月補正予算について
	定例	報告	第9号	湯前まんが美術館運営状況について
12月	定例	報告	第10号	湯前町議会令和6年12月定例会の結果について
	定例	議案	第24号	区域外就学について
	定例	議案	第25号	令和6年度教育委員会事務事業評価員の委嘱について
1月	定例	議案	第1号	区域外就学について
	定例	議案	第2号	就学援助費の認定について
	定例	報告	第1号	令和7年第1回湯前町議会臨時会結果について
2月	臨時	議案	第3号	令和7年度教職員人事異動素案について
	定例	議案	第4号	就学援助費の認定について
	定例	議案	第5号	入学準備金について
	定例	議案	第6号	令和6年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等報告について
	定例	報告	第2号	令和7年第2回湯前町議会臨時会結果について
	定例	報告	第3号	令和6年度熊本県学力学習状況調査について
	定例	協議	第1号	令和7年度当初予算要求について
3月	定例	議案	第7号	区域外就学について
	定例	議案	第8号	湯前町立学校医の委嘱について
	定例	議案	第9号	湯前町教育支援委員の委嘱について
	定例	議案	第10号	湯前町奨学生選考委員の委嘱について
	定例	議案	第11号	学校運営協議会委員の委嘱について
	定例	議案	第12号	地域学校協働本部運営委員及び活動推進員の委嘱について
	定例	議案	第13号	湯前町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について
	定例	議案	第14号	湯前町スポーツ推進委員の委嘱について
	定例	議案	第15号	湯前町スポーツ災害委員の委嘱について
	定例	議案	第16号	湯前町中央公民館長の任命について
	定例	報告	第4号	令和7年第3回湯前町議会定例会結果について
	定例	報告	第5号	令和6年度湯前町スポーツ災害見舞金について

(2) 研修等・事業活動

- ① 研修等 R 6.教育委員会主催教職員研修
(野外活動・郷土料理学習)
- ② 事業活動 学校訪問

対象学校	実施年月日	主な内容
湯前小学校	令和6年10月22日	諸表簿点検・経営概要説明 参観授業・講評指導助言 給食試食
湯前中学校	令和6年11月13日	諸表簿点検・経営概要説明 参観授業・講評指導助言 給食試食

(3) 総合教育会議

開催回数 1回
開催年月日 令和6年10月24日
会場 湯前町役場応接室
出席者 湯前町長 長谷 和人
湯前町教育長 中村 富人
湯前町教育委員会委員 村井 信照
湯前町教育委員会委員 林 敦子
湯前町教育委員会委員 藤岡 祐子
湯前町教育委員会委員 堤田 秋男

委員以外の出席者

教育課長 浅田 徹 教育課主幹 山崎 祥子

議 事

- (1) 児童・生徒数の推移について
- (2) 教育課所管諸事業について
- (3) 湯前町奨学金・入学準備金基金及びスポーツ災害見舞金会計について
- (4) 教育委員会組織について

(4) 教育委員会事務等点検・評価

開催年月日 第1回：令和7年2月7日・第2回：令和7年2月21日
 点検評価員（知見を活用する学識経験者）

氏名	所属等
黒木 真也	学校関係者（湯前町学校運営協議会長）
苗床 由美	社会教育関係者（湯前町婦人会長）（社会教育委員）
森下 一富	社会体育関係者（湯前町スポーツ協会会長）（社会教育委員）

学識経験者意見（評価対象年度：令和5年度）

※ ◎ 評価 ■ 今後の方向性等 ▲ 課題

項目	事項	意見
学校教育の振興	小中一貫教育 地域と共にある学校 づくり	◎■小中一貫教育においては、各種行事の合同開催や交流授業など積極的に取り組まれており小中学生相互の理解が深まり有意義であり、特に小学校から中学校へのスムーズな移行が図られるものと考えられる。交流活動も充実し、交流授業や乗り入れ授業により、学力向上の上でも学ぶ楽しさ、意欲につながると評価できる。今後も小中一貫教育の充実を図り、その取り組みと併せた地域と共にある学校づくりを継続頂きたい。 ▲例えば、毎年学校では、保護者、子ども達で運動場等の除草作業を行っているが、参加者だけでは作業が進まないといった課題もあるので、地域と共にある学校づくりとして、地域住民が各種作業等に参画することを検討頂きたい。
	GIGA スクール	◎GIGA スクール構想の取り組みとして、児童生徒一人一台タブレット端末の整備、各教室の電子黒板の配備や学習支援ソフトウェア導入しての ICT 教育の充実を図り、不登校の児童生徒に対しオンライン事業がされている。授業中は先生の管理のもと、児童生徒の活用内容が把握できている様子が窺え、ICT 機器の活用でより分かりやすく授業が進められていると評価できる。 ▲■課題としてスクリーンタイムの増加による視力低下などが懸念される、今後も適切な利用についての指導を継続頂きたい。また、充実した機器の更新拡充を図ると共に、次回更新時の端末 OS の統一を検討頂きたい。
	夢創出事業	◎■夢創出事業は一流のスポーツや文化等に若い時期に触れる経験をすることは非常に大切なことであり、子ども達の将来の可能性・夢を広げていく大変重要な事業と考えられるので継続頂きたい。
	子育て世代の支援	◎子育て世代への支援事業の各種補助等は、保護者の負担軽減が図られており評価できる。

	<p>学校施設整備</p> <p>学校給食 食育事業の推進</p>	<p>◎学校施設整備の中学校グラウンド改修工事は、運動環境の充実を図るため有意義であると評価できる。</p> <p>◎■湯前町の学校給食は人吉球磨の学校においても「おいしい!!」と評価の高い給食となっている。学校給食における食の教育では、貴重な心身の健全な発達のため、特に必要であると共に、小中学校での農業生産体験活動等を通じて、食に関心を持つ取り組みとして継続頂きたい。また、給食費の無償化を図られ、物価高騰の中、財政面で厳しい面もあると推察するが、地元食材の活用を継続・拡充頂きたい。</p>
<p>社会教育の振興</p>	<p>公民分館活動の振興</p> <p>生涯学習</p> <p>読書活動の推進 社会教育施策の充実</p>	<p>◎■コロナ禍、高齢者による分館活動が減少傾向にあった。公民分館活動を通じた地域コミュニティの活性化を図ることにより、地域住民の助け合い、仲間づくり、各種連携を醸成するのに効果的であり各分館の活性化施策を図る必要がある。また、地域での活動を通じた体力向上、健康維持や生きがいづくりに今後も努めて頂きたい。</p> <p>◎■生涯学習は 13 講座が開設されており、生き生きと楽しく受講されていると評価できる。特に高齢の方、一人暮らしの方々の生きがいにもなっており、知識、やりがい、仲間づくり、健康づくりに効果があると推察される、今後も新しい講座の導入検討を含め継続拡充を頂きたい。</p> <p>◎■ブックスタート事業は、本に親しむきっかけや図書の情報発・読書支援としての役割があり、親子連れの参加者の増加を図る等積極的に取り組みを進めて頂きたい。また、まんが美術館他改修事業が進められており、今後のまんが美術館周辺施設の充実も図られており美術館・図書交流棟の利用者増が期待される。</p>

<p>社会体育の振興</p>	<p>各種競技大会 総合運動クラブ スポーツ活性化事業 B&G 関連事業 体育施設の整備</p>	<p>◎▲■町内駅伝大会は、参加地区数の減少により中止となったが、秋季球技大会は「B&G 財団会長杯」として開催されている、中止となった大会は別の種目として代替し町民の活躍する機会を醸成する必要がある。総合運動クラブの児童会員の増加は非常によい傾向であるが、指導者不足については早急に対策を行う必要がある。</p> <p>また、学校での部活動が社会体育へ移行していく中、総合型運動クラブ「だんだん」に参加している子ども達の体力が向上しているのか検証を行っていく必要も考えられる。</p> <p>海洋センタートレーニングルームの活用について、利用者は自分のペースで体力向上に努めていると推察される。個々の体力づくりの場としての利用者ニーズに沿った取り組み、トレーニング機材の拡充ニーズもあるので対応を頂きたい。</p>
<p>文化財保護と文化振興</p>	<p>文化財の保存活用</p> <p>まんが美術館事業</p>	<p>■町内には文化財建造物が多く存在しており計画的に保存修理が実施されており、今後も継続して実施いただきたい。下里御大師堂保存修理事業が完了したが、町全体の文化財に対して各地域での取り組みがなされていることも踏まえ、「町の宝物」を感心されるようなPRの取り組みを頂きたい。</p> <p>◎■まんが美術館の事業については、様々な取り組みを行っていると共に新規の取り組みとして開催した展示併催の漫画家トークショー、声優イベントは盛況であり、新規取り組みの実践導入は評価される。</p> <p>地域おこし協力隊が主体となったワークショップ、SNSを活用した情報発信、イベント等の新しい取り組みがなされ、観覧者数も増となっており、今後も「まんがの町」として新しい企画等を期待する。</p> <p>▲その反面、美術館という硬いイメージの意見もあるので、シビックプライドに繋がるような取り組みの必要性がある。</p>
<p>総 括</p>		<p>教育委員会事務事業は、多種多様な業務を前向き且つ計画的な取り組みが実行されていると評価する。特に教育振興では子ども達の教育に適した環境づくりが重要であり、関係機関並びに地域全体で育てていくという意識を広げていく必要があると考えられるので、今後も各教育施策の推進として、全体的・適切に事務事業を進めて頂きたい。</p>

II 教育施策の推進状況について

1 学校教育の振興

学校の状況（児童・生徒数・学級編成・教職員等）

(1) 湯前小学校

教育目標：ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

(小中一貫教育のため教育目標は小中学校共通)

湯前小学校学級編成

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
人数	18	17	19	30	26	22		
知的1～3	知的4～6	自情1～2	自情3～4	自情5～6	弱視(4)	計	特別支援教育児童	
0	5	2	8	4	0	151	19	12.6%

児童・学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
令和4年度	児童数	20	30	21	24	34	28	27	184
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	12
令和5年度	児童数	17	19	29	25	23	34	20	167
	学級数	1	1	1	1	1	1	4	10
令和6年度	児童数	18	17	19	30	26	22	19	151
	学級数	1	1	1	1	1	1	3	9

教職員数

校長	教頭	教務主任	研究主任	事務主幹	養護教諭	栄養教諭	学級担任	計
1	1	1	1	1	1	1	8	15
特別支援教育支援員		学校事務	庁務手	計	合計			
6		1	1	8	23			

(2) 湯前中学校

教育目標：ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた生徒の育成

(小中一貫教育のため教育目標は小中学校共通)

湯前中学校学級編成

学年	1年	2年	3年	合計	
人数	34	30	29	93	
特別支援人数	4	1	1	6	6.1%
計	38	31	30	99	

生徒・学級数の推移

年度	区分	1年	2年	3年	特別支援学級	計
令和4年度	生徒数	29	25	34	5	93
	学級数	1	1	1	2	5
令和5年度	生徒数	30	28	25	3	86
	学級数	1	1	1	2	5
令和6年度	生徒数	34	30	29	6	99
	学級数	1	1	1	2	5

教職員数

校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	養護助教諭	事務職員	非常勤講師	計
1	1	10	0	1	1	1	1	16
特別支援教育支援員		適応指導教室指導員	学校事務	庁務手	計	合計		
3		1	1	1	6	22		

総括（令和 6 年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

第 5 章 地域をつなぐ人づくり

第 1 節 学校教育の振興

学校教育については、児童生徒の学力と心身の育成のための経常的な施策のほか、地域とともにある学校づくりを進めるために、地域学校協働活動の充実や湯前町学校運営協議会において学校経営方針の協議等を行いました。また、各種行事の合同開催や交流授業などにより、小中一貫教育の推進を図りました。

外国語・英語教育では、外国語指導助手派遣委託を継続し、英語教育の強化を図るため小中学校英語検定料補助を実施し延べ 40 人が受験をしました。

令和 3 年度からふるさと納税を財源とした子育て世代への支援事業を始め、小中学校新入学生の保護者 54 人に入学祝い金を支給し、修学旅行に参加した小学 6 年生の保護者 21 人、中学 2 年生 27 人に費用の定額補助を行いました。また、中学校において平成 16 年から地域伝統芸能継承活動を行っています。令和 6 年度はその拡充事業として、浅鹿野棒踊りのお囃子演奏の再興・継承を図るために、プロの演奏家の指導による和楽器の制作・演奏を行いました。

また、GIGA スクール構想の取り組みとして、今年度から導入した「テラトーク（英語 AI 学習ソフト）」を使用するにあたり、教室内や家庭でも周囲を気にすることなく「聞く」「話す」の学習に取り組むことができるようにするため、ヘッドセットを中学生全生徒に支給しました。

管内の高校等に公共交通機関を利用して通学する生徒への支援では、延べ 125 人に通学定期券代の一部補助を行いました。

学校給食では、児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた安心安全でおいしい給食の提供とともに、配膳、会食、後片付けを通じた協調性や社会性の涵養、食事マナーの習得など食に関する「生きた教材」として、学校教育活動の重要な役割を担っており、令和 2 年度から開始した学校給食費の一部補助は令和 5 年度 2 学期からは全額補助になり、令和 6 年度も継続して行いました。

進学意欲を有し経済的理由により就学困難な者へ、教育の機会を均等に寄与するとともに有望な人材を育成することを目的として新たに 1 件の奨学金の貸付を行いました。

(1) 校内研修の充実と学力向上

① 校内研修の実施状況

○ 湯前小学校（「学校経営案」校内研修全体計画より）

・研修目的

教育の現場における実践的研修を相互に深め、教職員としての資質の向上に努めることによって学校教育の充実を図る。

・研修の視点

本校の学校教育目標の達成に向けて研鑽を積む研修

教職員としての視野を広げ、教育的実践力を高める研修

児童の変容を把握し、授業改善につなげる研修

学校職員が相互に協働し、適切に組織を形成しながら運営していく研修

・研修の基本方針

(1) 学習指導に係る研修

「熊本の学びの推進プラン」に基づき、「児童の視点に立った『児童の学びの側から考える』授業づくり」の推進を図る研修を進める。

① 授業研究会、公開授業の実施

② 指導力向上を図る講話（講師招へい等）の実施

(2) 人権教育・道徳教育に係る研修

① 現地研修等の実施

② 授業研究会、公開授業

(3) その他の教職員の資質・能力向上を図る研修

① 児童理解研修

② 特別支援教育研修

③ 実技研修（情報教育、救急救命等）

④ 幼保等小中連携に係る研修

⑤ 復講（各種研究会の報道）

⑥ その他（町教育委員会主催研修への参加等）

(4) 留意事項

① 各研修については、担当者と連携を図り設定する。

② 本年度、校内研修は長期休業期間中を含めて30回実施する。

○ 湯前中学校（「学校経営案」校内研修全体計画より）

・研究主題

生徒が「わかった・できた」を実践できる授業の構築
～生徒の主体性を育む学級づくりを基盤として～

・主題設定理由

生徒の実態・地域の実態・保護者の思い

・研修計画 テーマ研修 14 回・現職研修 12 回

・仮説

1. 生徒たちが学級の課題を共有でき、課題解決のための行動を継続的に取り組むことができたならば、生徒自身が自分を見つめ、生徒同士が互いにつながり合い、高め合える学級ができるであろう。
2. 生徒が主体的に学習する授業を構築し、実践していくならば、生徒が「わかった・できた」を実感でき、学力向上につながるだろう。

・視点

1. 高め合う学級づくりのための工夫
 - ① i - c h e c k を基にした仲間づくり
 - ② 「学級力向上プロジェクト」を活用した学級づくり
 - ③ 学習規律の確立
 - ④ 凡事徹底
 - ⑤ ソーシャルスキルトレーニング
 - ⑥ 生徒理解と関係機関との連携
2. 授業構築と日常的な指導の工夫
 - ① めあて、学習活動、振り返り、まとめの提示と徹底
 - ② 家庭学習の共通理解と学習習慣の定着
 - ③ UD の視点を取り入れた授業
 - ④ 個に応じた指導の充実
 - ⑤ 情報モラル教育と ICT 機器の効果的な活用
 - ⑥ 読書活動の充実と新聞の効果的活用

(2) 小中一貫教育の推進

R 6 小中一貫教育実績

【R 6 行事实績】

月	日	活動	備考
4月	11日	見知り遠足・見知り集会	会場：中学校運動場
5月	29日	合同プール掃除	5・6年：小プール 中：大プール
6月	17日	引き渡し訓練（水害）	同日同時刻開催
9月	20日	運動会	中学校吹奏楽部が開会式に参加
10月	8日	湯前中・西米良中交流合唱祭	会場：小学校体育館 5・6年参加
	22日	幼保等小中連携合同研修会	小1・中1 授業公開、部会
	31日	地震避難訓練	同日に時刻をずらして開催
11月	9日	中学校文化祭伝統芸能鑑賞	会場：小学校体育館
2月	17日	中学校説明会・授業参観	会場：中学校

【R 6 乗り入れ授業実績】

月	対象学年	教科	時数	内容	会場
9・10月	5・6年	音楽	3	交流合唱祭参加に向けて	小学校
10月	6年	体育	2	ハードル走（単元の導入・終末）	小学校
11月	5年	図工	8	人吉球磨美術展に向けて	小学校
3月	6年	社会	1	中学校体験授業・理科と同日	中学校
3月	6年	理科	1	中学校体験授業・社会と同日	中学校

(3) 地域とともにある学校づくり

- ① 学校運営協議会の開催 4回
- ② 地域学校協働活動の実施状況 協働本部会議 2回

・事業目的

学校、家庭および地域住民相互の連携・協働を推進するため、学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開し、まち全体で地域の将来を担う子供たちを育成するとともに地域コミュニティの活性化を図る。

・事業概要

地域と学校が連携・協働して、学校での学習支援や学校行事を協働で実施した。
 (地域学校協働本部会議 3回 ※協働活動延べ開催日数：52日)

学校、家庭、地域が連携・協働しながら、地域の多様な経験や技能を持つ人材の協力により、長期休業期間中に地域未来塾を実施し、子供たちの学習意欲を高めると共に地域住民等との交流を深めた。

(地域未来塾の開催：夏季 10日間・冬季 5日間 計 15日間)

- ・事業成果

子供たちと地域住民が関わる機会の増加：希望する全ての子供たちに対して学習機会や交流機会を提供することにより、多様な体験活動を実施した。

- ・検証方法：協働活動運営委員会と学校運営協議会が連携し評価を実施した。

令和6年度地域学校協働活動実施状況

月	日	事項	学校 担当	協働内容	コーディネーター	児童数	地域の方	合計
					引受団体or個人			
4	16	交通教室(低・中・高学年)	安全教育担当	指導補助と交流	多良木警察署 交通安全母の会等	145	17	162
5	13	6年花いっぱい交流(夏花苗植え)	6年担任	指導補助と交流	老人クラブ	27	27	54
5	21	1・2年いきいき交流①	2年担任	指導補助と交流	老人クラブ	37	14	51
5	24	6年家庭科調理実習(野菜炒め)	6年担任	指導補助と交流	地域学校協働本部	27	4	31
6	4	5年種まき	5年担任	種まき指導	JA青壮年部	29	5	34
6	21	2年生活科町たんけん	2年担任	引率補助	地域学校協働本部	18	5	23
6	24	6年租税教室	6年担任	講師	税務町民課	24	3	27
6	25	5年田植え	5年担任	田植え指導	JA青壮年部	29	10	39
7	1	4年ふれあい交流	4年担任	独居老人との交流	老人クラブ	32	6	38
7	4	3年みそづくり(総合)	3年担任	みそづくり補助	地域学校協働本部	25	27	52
7	5	6年職業講話(行政相談員)	6年担任	講師	右田司法書士事務所	25	5	30
7	5~17	水辺の安全教室(低・中・高)	1~6年担任 教務	講師	湯前町B&G海洋センター	146	6	152
7	12	4年緑の流域治水出前授業	4年担任	講師	熊本県企画振興課	32	5	37
9	2	4年まんが授業	4年担任	指導と交流	崇城大学芸術学部 木下助教授	32	7	39
9	9	4年いきいき交流①	4年担任	指導補助と交流	老人クラブ	32	12	44
10	2	3年いきいき交流①	3年担任	指導補助と交流	老人クラブ	25	11	36
10	9・17	6年家庭科ミシン学習	6年担任	指導補助と交流	地域学校協働本部	47	12	59
10	21	5年花いっぱい交流	5年担任	指導補助と交流	老人クラブ	28	32	60
10	25	5年稲刈り	5年担任	稲刈り指導	JA青壮年部	29	12	41
10	29	6年湯前町史跡めぐり	6年担任	文化財説明	教育委員会	24	1	25
11	1	地震避難訓練(小中合同)	防災主任	指導補助	総務課	142	3	145
11	8	4年幸野満見学	4年担任	講師	水土里ネット幸野満	31	2	33
11	13	2年いきいき交流②	2年担任	指導補助と交流	老人クラブ	17	10	27
11	13	5年収穫祭(もち米クッキング)	5年担任	もち米クッキング指導	JA女性部	28	6	34
11	14	2年生活科町探検引率	2年担任	引率補助	地域学校協働本部	17	3	20
11	25	4年いきいき交流②	4年担任	指導補助と交流	老人クラブ	31	8	39
12	4	3年いきいき交流②	3年担任	指導補助と交流	老人クラブ	24	9	33
12	13	1年いきいき交流(昔遊び)	1年担任	指導補助(昔遊び)	老人クラブ	19	14	33
1	21	6年陶芸教室	6年担任	講師	老人クラブ	27	8	35
2	17	6年記念植林	6年担任	講師、指導補助	農林振興課、6年保 護者	25	4	29
2	21	5年認知症サポーター養成講座	5年担任	講師、読み聞かせ、ファミ リティーター	保健福祉課、社協、地 域包括センター	28	12	40
合計						1202	300	1502

月	日	活動名	協働内容	地域の方	生徒数	合計
5	2	自転車点検	点検指導・補助	9	99	108
	20	3年職場体験事業所依頼	事業所依頼	2	0	2
6	21	1年家庭科ミシン学習	ミシン点検・指導	5	38	43
7	5	学習マンガコンテスト	打合せ	2	0	2
	10	伝統芸能オリエンテーション	講師	7	99	106
	18	水辺の安全教室	講師	2	99	101
9	2	まんが授業	講師	4	99	103
		中学校伝統芸能継承（練習）	講師・夜間補助	15	99	114
	12～13	3年職場体験	各事業所との打合せ	18	30	48
10	18	伝統芸能打合せ	文化祭打合せ	3	0	3
	19	町民体育祭	生徒協力（地域貢献）		16	16
	8	認知症サポーター養成講座		3	38	41
	8	文化祭（伝統芸能継承）	着付け補助	15	70	85
	15	里宮神社秋季大祭奉納踊り	着付け補助	10	70	80
	15	福寿荘慰問（棒踊り）	着付け補助	5	30	35
12	20	門松づくり	材料集め・制作指導	6	8	14
3	14	家庭科調理実習（郷土）		9	31	40
合 計				115	826	941

（４）人権教育の推進

① 人権教育推進活動の実施状況

- ・人権教育に関する研修（教職員） 小学校：9回 中学校：6回
- ・人権集会 小学校：学期に1回 計3回 中学校：5回

（５）食育の推進

① 食育推進活動の実施状況

- ・野菜・米の栽培活動、栽培したもち米を給食で使用した。（小中学校）
- ・栄養教諭による食育指導（小中学校各学年）
- ・月1回「ふるさとくまさんデー」などで地元食材の紹介と活用。地産地消を推進し、給食だよりで周知啓発した。

② 学校給食の状況

- ・給食回数 小学校：188回・中学校：187回
- ・給食費 小学校 46,200円（人／年額）・中学校 63,580円（人／年額）
- ・学校給食共同調理場運営委員会 開催回数3回
- ・学校給食完全無償化（令和5年度2学期から）
令和5年度の2学期より給食費の無償化補助事業をはじめたが、食材費が高騰しているため給食安定供給支援事業により給食の安定供給を図った。

令和6年度 学校給食会計決算書

(収 入)

(単位：円)

科 目	収 入 済 額	説 明
給 食 費	1,297,523	1. 小学校等職員分
	1,354,106	1. 中学校職員分
	404,703	1. 調理員等
繰 越 金	597,007	1. 前年度繰越金
預金利息	3,601	1. 銀行等預金利息
補助金	12,441,384	1. 給食費補助金 (全額補助)
	1,391,247	1. 小学校支援分
	555,517	1. 中学校支援分
	300,000	1. 給食安定供給支援事業
諸 収 入	54,490	1. 給食試食代、廃油販売代など
収 入 合 計	18,399,578	

(支 出)

(単位：円)

科 目	支 出 済 額	説 明
主 食 費	1,688,393	1. 米・パン代
副 食 費	12,578,306	1. おかず・デザート代
牛 乳 費	3,427,831	1. 牛乳代
返 金 等	139,141	1. 学校行事等による返還等
支 出 合 計	17,833,671	

収 入 合 計	18,399,578	円	
支 出 合 計	17,833,671	円	
差 引 残 額	565,907	円	(翌年度へ繰越)

(6) 学校教育施設・設備の整備

令和6年度実施なし

(7) 奨学金の運用状況

進学を意欲を有し経済的理由により就学困難な者へ、教育の機会均等に寄与するとともに有望な人材を育成することを目的として、新たに奨学金1件の貸付を行いました。

令和6年度末の奨学金基金の運用状況等は次のとおりです。

○基金の額 (単位：円)

令和5年度末	免除額	取崩・繰出	令和6年度末
70,000,000	0	0	70,000,000

○運用状況 (単位：円)

前年度末現金残高	41,532,942	①
当年度繰出額	0	②
当年度貸付額	3,940,000	③
当年度償還額	5,765,000	④
当年度末現金残高	43,357,942	⑤ (①-②-③+④)

- | | | |
|----------|------------------|----------------|
| 《貸付の状況》 | ・ 奨学金 8人 (延べ32人) | ・ 入学準備金 1人 |
| 《滞納の状況》 | ・ 滞納者実人員 1人 | ・ 滞納額 195,000円 |
| 《債権管理状況》 | ・ 借用証書 | |
| 《運用収益状況》 | ・ 基金利子を一般会計へ | |

2 社会教育の振興

総括（令和6年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

第2節 社会教育の振興

社会教育の振興施策については、公民分館活動の振興を通じたスポーツ活動や花づくり活動等の地域コミュニティ活性化を図るため、公民分館活動振興補助金並びに花づくり奨励金を交付し振興を図りました。また、公民分館活動の拠点である施設の充実を図るため、4分館に分館施設整備補助金を交付し整備を行い、地域コミュニティ活性化事業補助金は、6公民分館が地域内共用施設の整備を実施しました。

生涯学習では、一般成人を対象に15講座を開設し、受講生の知識や健康増進の向上を図りました。開講式や閉講式、秋の文化祭も行い、学びの機会や成果発表の場を醸成し、学習意欲を高めることができました。

また、青少年を対象に1教室、家庭教育学級1教室を開催し、人づくりに努めました。

青少年の健全育成では、青少年の非行や犯罪を防止するために地域の方々と連携し、B&G海洋クラブ活動などの地域指導者による体験活動を通じて非行防止運動の啓発などに努めました。

図書交流棟は、小さい子供から高齢者までどの年代でも利用しやすい施設として整備し、図書の並べ方の工夫、お勧めの図書や新刊案内等を掲載した図書室だよりを発行し、読書活動や図書交流棟の利用促進を図りました。

人権教育では、令和5年度から新たに地域人権教育指導員を配置するとともに、町人権教育推進協議会を中心とした各種事業や図書室への人権図書コーナー設置等により教育・啓発活動を推進しました。

○生涯学習講座の受講者数と図書室の利用

教室名	受講者数	備考
生涯学習（15教室）	延 139 人	（実人数 84 人）
青少年教室（1教室）	24 人	
家庭教育学級（1教室）	15 人	
図書利用状況（人数・冊数）	565 人	1,494 冊

（1）青少年の健全育成

青少年の健全育成に係る組織の状況

① 団体名称：湯前町青少年育成町民会議

② 設置目的

この会議は、青少年問題の重要性にかんがみ広く町民の総意を集結し、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

③ 令和6年度事業実績

期 日	事 業 名	場 所	備 考
5月22日	熊本県青少年育成県民会議総会	熊本県庁	
5月29日	湯前町青少年育成町民会議会計監査	中央公民館図書室	
6月28日	湯前町青少年育成町民会議総会・記念講演会	湯前町農村環境改善センター	
7月1日	子どもと高齢者のふれあい交流会	湯前小学校	町、社会福祉協議会 中央公民館主催
7月～8月	夏の青少年健全育成県民総ぐるみ運動	HP・旬報掲載	県、県青少年育成県民会議主催
7月～8月	社会を明るくする運動	町内（PR幟設置）	熊本県推進委員会主催
9月23日	第46回「少年の主張」熊本県大会	熊本県庁	
少年補導委員・防犯警ら隊		休み期間中の夜間パトロール	

協賛事業

期 日	事 業 名	場 所	備 考
6月～10月	B&G海洋クラブ	町内ほか	B&G主催
7月17日	水辺の安全教室	町内	B&G主催 町子ども会育成者連絡協議会共催
12月21日	家庭教育講演会	湯前中学校	町保小中連携連絡協議会主催 町PTA連絡協議会共催

（2）読書活動の推進

① 中央公民館図書室利用状況

- ・ 図書貸出者数 R4：594人 → R5：654人 → R6：565人
- ・ 貸出図書数 R4：1,502冊 → R5：1,808冊 → R6：1,494冊

② ブックスタート事業実績 4回 計：親子16組

1 日 時

- 第1回：令和6年 5月23日（木）10：20～10：30
- 第2回：令和6年 7月25日（木）本のプレゼントのみ
- 第3回：令和6年11月28日（木）10：20～10：30
- 第4回：令和7年 3月27日（木）10：20～10：30

2 会 場 湯前町保健センター

3 対象者 親子計16組

4 内 容 ブックスタートについて
ブックスタートの効果（読むと共に楽しむの違い）
図書を通じた時間共有と読み聞かせの効果
発達段階に応じた図書とのかかわり

5 その他 配布図書「あっぷっぷのぷ～」

（3）人権教育の推進

人権教育の推進に係る組織の状況

① 団体名称：湯前町人権教育推進協議会

② 設置目的

本会は、湯前町内における人権教育を社会教育・学校教育・就学前教育の両面から推進することを目的とする。

③ 令和6年度事業実績

期 日	区分	事 業 名	場 所
4月16日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会第1回代表者会議	湯前町
5月21日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会第2回代表者会議	湯前町
5月24日	県	第1回人権教育・啓発担当者等研修会	熊本市
6月10日	町	湯前町人権教育推進協議会会計監査	湯前町
6月17日	県	全人教大会実務担当者説明会	菊陽町
6月28日	町	湯前町人権教育推進協議会総会	湯前町
7月27日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会研究大会全体会	あさぎり町
	上球磨	人吉球磨人権教育研究協議会研究大会分科会	水上村
9月17日	郡市	人吉球磨人権教育研究協議会第3回代表者会議	湯前町
10月19日・20日	県	部落解放第36回熊本県研究集会	熊本市
11月30日 12月1日	全国 九州 県	第75回全国人権・同和教育研究大会 兼第50回九州地区人権・同和教育夏期講座 兼第52回熊本県人権教育研究大会	熊本県 福岡県 鹿児島県
12月19日	県	第2回人権教育・啓発担当者等研修会	熊本市
2月20日	町	令和6年度湯前町人権教育推進協議会 (湯前町人権教育・啓発基本計画について)	湯前町
啓発事業（毎月広報掲載）			

(4) 地域学校協働本部事業と家庭教育の推進

- ① 地域学校協働本部事業の実施状況 P16 掲載
- ② 家庭教育の推進（親の学び事業の実施状況）

管内【校種別実施状況(実施率)】

令和6年度	就学前(保)	小学校(保)	中学校(保)	義務教育学校(保)	次世代編(生徒)
園・学校数	2	1	1	0	1
実施園・学校数	2	1	1		
実施率	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	0.0%



(5) 社会教育施設の充実

熊本地震復興基金を事業財源とした令和5年度からの繰り越し事業により、湯前まんが美術館他改修事業等を実施しました。令和6年度中に実施困難な事業については令和7年度へ予算繰越を行いました。

教工第1号 湯前まんが美術館ほか設備改修工事
 事業費：21,589千円
 受注者：尾前電気設備

教工第4号 湯前まんが美術館他改修工事実施設計業務（繰越明許）
 事業費：14,751千円
 受注者：西日本建設測地社

教工第10号 湯前まんが美術館他改修工事（繰越明許）
 事業費：24,536千円
 受注者：力一建設

教工第11号 湯前町中央公民館図書交流棟新築工事（繰越明許）
 事業費：40,326千円
 受注者：岩井工務店

教工第4号 湯前まんが美術館他外部改修工事（令和7年度へ繰越）
 事業費：33,550千円
 受注者：力一建設

教工第 号 湯前まんが美術館他外部改修工事設計監理業務（令和 7 年度へ繰越）
事業費：2,000 千円

教工第 号 湯前まんが美術館他外部改修工事（令和 7 年度へ繰越）
事業費：27,860 千円

3 社会体育の振興

総括（令和 6 年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

第 3 節 社会体育の振興

社会体育では、町民の健康増進、体力の保持や向上等を目的として、体育協会やスポーツ推進委員の協力により町民体育祭や球技大会など各種社会体育事業を実施しました。

また、体育協会や総合型地域スポーツクラブを活用した教室や体験会なども実施しました。

体育協会の会員数は減少傾向にあり、令和 6 年度会員数は 244 人となりました。同様に総合型地域スポーツクラブ湯前さわやかクラブ「だんだん」でも会員数は減少し、令和 6 年度会員総数は 145 人となりました。これは、湯前小学校で実施している「総合運動クラブ」への参加者が児童総数の減少による会員数の減となります。そのような中でも、「総合運動クラブ」は地域指導者の協力を得て週に 2 回放課後の時間帯に小学校体育館をメイン会場として開催、全 70 回開催、延べ 2,676 人の児童が参加し運動を通じてコミュニティの活性化を図ることができました。

スポーツコミュニティ活性化事業では SUP ヨガを実施し、地域住民が B&G 施設や関連器材を活用し、スポーツを通じた交流について学ぶ機会の創出となりました。

地域間連携による体育事業については、奥球磨駅伝競走大会をはじめ球磨一周駅伝大会など、球磨人吉管内市町村との連携によるスポーツ事業を開催することができました。

また、（一社）熊本県自転車競技連盟が主催する自転車競技大会「ツアーオブ九州全国ジュニアステージレース」が本町を会場として開催されました。

なお、平成 24 年度から湯前町・多良木町・水上村の奥球磨 3 町村連携事業として取り組んで参りました奥球磨ロードレース大会につきましては、大会の目的、参加者の現状などを踏まえ、前回の 10 回大会で廃止となり、令和 7 年度から新たに奥球磨女子駅伝競走大会の開催を検討することとなりました。

B&G 関連事業では、海洋性レクリエーションの機会提供や、地域児童や住民を対象とした海洋クラブ活動、地域河川を利用した SUP 体験会を実施しました。また、水難事故の防止を目的に、上球磨消防署の協力のもと B&G 海洋センター

プールにおいて「水辺の安全教室」を開催、また令和6年度からは湯前小・中学校全学年を対象として湯前中学校プールで開催するなど、自らの命を守る自助意識の普及と海洋性レクリエーション活動の推進に努めました。

人口に対する体育組織への加入率 11.6% (R5: 11.1%) (※体育協会会員及び郡民体育祭出場者+だんだん会員数/3月末人口で算出)

(1) スポーツ団体の充実と活性化

① 総合型地域スポーツクラブ湯前さわやかクラブ

「だんだん」の定期的・継続的な活動【令和6年度末時点(数字)は実人数】

種目	参加者数			令和6年度 延べ参加者数
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
総合運動	44	45	42	2,530
軟式野球・野球教室	30	38	27	2,188
ソフトテニス	25	35	32	2,294
バドミントン	9	5	2	9
フットサル	20	28	36	915
トランポリン	20	9	5	32
ボウリング	7	7	6	61
歌声	5	6	9	225
バレーボール		6	3	256
水泳・水中運動	4	4	5	149
計	164	183	167	8,659
(実人数)	159	160	145	

② 町スポーツ推進委員の会議開催及び研修会参加

定例会議、合同会議等	9回
郡市理事会、総会、研修会	5回
全国、九州、県研修会等	3回

③ 各種大会等の開催

行事名	期日	場所
体育部長会	R6.4.16	中央公民館
第60回春季球技大会	R6.5.19	町内各会場
スポーツ推進委員・体協合同会議	R6.8.27	役場洋会議室
B&G財団会長杯 第60回秋季球技大会	R6.9.8	湯前町民グラウンド B&G海洋センター
区長・分館長・体育部長合同会議	R6.9.11	改善センター大集会場
第3回奥球磨駅伝競走大会	R6.10.6	水上・湯前・多良木・あさぎり
第66回湯前町民体育祭	R6.10.15	湯前町民グラウンド
第72回球磨一周駅伝大会	R6.12.15	錦町スタート・フィニッシュ

④ 小学校運動部活動の社会体育移行

小学校運動部活動の社会体育移行に伴い、総合型地域スポーツクラブ「ゆのま えさわやかクラブだんだん」を受け皿とした総合運動クラブコーチ部会の組織により児童への指導を実施しています。

⑤ 中学校部活動の地域移行

「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」(R4.6.6)「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(R4.12)「熊本県公立中学校の運動部活動における休日の段階的な地域移行推進計画」(R5.2)が示され、本町では地域移行に向けた検討委員会を設置しております。部活動の一部では試行的に週末の地域移行を実施しておりますが、完全移行となるまで受け皿となる地域クラブとの調整、指導者の確保、保護者負担についてなど検討を進めています。

(2) 体育施設の整備、維持管理

① 整備事業

単位：千円

事業（工事）名	事業概要	事業費
湯前町民グラウンド周囲園路沿い高木伐採委託料	ウォーキングロード沿い高木の伐採	858

財源内訳

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
湯前町民グラウンド周囲園路沿い高木伐採委託料	858	0	0	0	858

② 維持管理

- ・ 体育施設清掃委託 ・ 消防施設点検委託 ・ プール監視業務委託
- ・ 海洋センター外部清掃等委託 ・ 警備委託・海洋センター管理人業務委託

令和6年度 社会体育施設利用状況

(単位：人、円)

区分 月	体育館		プール		グラウンド		多目的コート		トレーニング ルーム	合計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	人員	金額
4月	967	25,570			353	3,380	310	7,750	146	2,099	36,500
5月	650	20,640			880	23,160	340	8,170	153	2,405	51,970
6月	505	21,330	1,102	73,030	489	38,870	392	5,290	179	2,851	138,520
7月	455	14,440	2,329	172,610	595	72,300	456	3,660	194	4,292	263,010
8月	297	19,380	2,929	220,050	327	5,980	345	6,210	150	4,257	251,620
9月	684	21,240	625	42,990	504	38,620	405	3,410	157	2,858	106,260
10月	392	19,450	6		1,358	39,010	370	4,250	196	2,547	62,710
11月	609	20,250	5		582	44,190	283	1,450	174	2,083	65,890
12月	250	9,680			510	7,520	322	8,060	139	1,351	25,260
1月	439	15,420			350	4,160	358	7,440	125	1,529	27,020
2月	581	20,750			253	3,380	221	13,550	182	1,605	37,680
3月	532	25,230			422	21,320	433	11,070	214	1,807	57,620
計	6,361	233,380	6,996	508,680	6,623	301,890	4,235	80,110	2,009	29,684	1,124,060

(3) 湯前町スポーツ災害見舞金の運用状況

○運用状況

前年度末基金残高	16,971,026円 ①	
当年度収入額	7,803円 ②	預金利息
当年度支出額	14,400円 ③	見舞金2件
当年度末基金残高	16,964,429円 ④ = ① + ② - ③	

湯前町スポーツ災害見舞金は、スポーツ事故により、害を受けた者又はその遺族に対して見舞金を支給する制度です。町、町教育委員会、湯前町体育協会、地区・分館が主催・共催するスポーツ大会、及び町代表として参加した郡、県、全国大会の練習及び競技中、生命又は身体に障害を受けた事故の被害者又はその遺族に対して支給されます。

4 文化財保護と文化振興

総括（令和6年度一般会計決算書の主要な施策の成果より）

第4節 文化財保護と文化振興

文化財保護については、湯前町文化財振興補助事業により文化財保存団体の活動支援や地域の文化財施設修繕助成などを実施しました。また、指定文化財は文化財保護委員による定期的な巡回の実施により、文化財の保存に努めました。

文化財建造物の保存活用では、御大師公園整備工事（第1期）を行い休憩所を新築、表層路盤まで整備しました。令和7年度に繰り越して第2期工事を行います。

また、明導寺阿弥陀堂屋根修理・九重石塔耐震対策に向けた基本設計業務委託契約を締結し、令和7年度に繰り越して基本設計を実施します。

まんが美術館では、内装を中心とする改修工事を行い、美術館内にあった教育課事務室を公民館棟に移転、展示室面積を増やしたほか、床や照明のリニューアルを行いました。また、収蔵庫に加除湿器を設置し、24時間湿度管理を可能にし、収蔵資料の保存環境向上を図りました。引き続き、令和7年度に外装等の改修工事を実施します。

まんが美術館事業としては、改修工事期間の休館をはさみ、11月にリニューアル後の特別展第1弾として「アニメ『夏目友人帳』15周年記念展」を開催、オリジナルグッズを作成したほか、関連商品を多数仕入れて販売を行いました。日本のみならず海外からもアニメ『夏目友人帳』のファンが多く訪れ、約2か月間の会期で6,685人と、まんが美術館の展示としては過去2番目に多い集客数となりました。また、1月から「那須良輔風刺漫画大賞作品展」、3月から「アニメ『レエル・ロマネスク』展」を開催しました。

さらに、那須良輔作品を館外に出張展示する「出前まんが美術館事業」も積極的に実施しました。令和6年度中に開催した全会場の来場者は5,121人で、令和4年度の事業開始以来最多の来場者数となりました。なお、令和4年度からの累計来場者数は1万人を突破しました。

また、一般財団法人地域創造の助成を受け、那須良輔作品の活用につながる展示として、近現代漫画家記念館共同巡回展「これが漫画！展 日本の漫画を創った時代～楽天・隆一・良輔～」の実現に向けた実行委員会を立ち上げ、令和7年度中の開催を目指して資料調査や企画会議、図録の作成に取り組みました。

第33回を数えた風刺漫画大賞では、令和6年度からデジタル作品も応募可能としたこともあり、640点の応募があり、「物価高騰」、「猛暑」や「スマホ依存」などをテーマとした作品が多くみられたほか、「オリンピック」、「新紙幣」や「富士山」などをテーマにした時世を表す多くの作品が集まり、漫画フェスタで表彰式を実施しました。

(1) 文化財愛護意識の向上

令和4年度の湯前町街づくりアンケートでの「文化財行政・文化財の保存活用に対する住民満足度（満足＋どちらかといえば満足）」は43%でした。

（令和5年度、令和6年度の同アンケート調査はありませんでした）

(2) 未指定文化財の調査

令和6年度未指定文化財の調査事業は特に実施しませんでした。

(3) 指定文化財の維持管理

① 湯前町文化財保護委員会を2回開催し、文化財施設パトロール及び指定文化財に係る修理事業等の調査協議を実施しました。

② 指定文化財の修理・維持管理事業

単位：千円

事業（工事）名	事業概要	事業費
下里御大師堂周辺整備工事	公園休憩所建築工事監理業務、公園休憩所建築工事・公園工事 （全工事 R6 繰越明許）	28,461
湯前町文化財振興補助事業	施設維持管理・地域行事 民俗文化財継承活動・協議会活動	891

単位：千円

事業（工事）名	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
下里御大師公園整備工事	28,461	14,151	14,152		158

(4) 文化団体の育成

文化団体の状況

① 団体名称：湯前町文化協会 【会員数：2 団体・122 名】

② 設置目的

本会は、文化関係団体（個人も含む）機関の相互の連絡調整を図ると共に文化の振興に寄与することを目的とする。

③ 所管事業

- ・文化事業の主催並びに後援
- ・文化高揚に関する啓発宣伝
- ・町内各種文化団体並びに文化機関の相互の連絡調整と情報交換
- ・その他本会の目的の達成に必要な事業

④ 令和 6 年度事業実績

総 会 1 回

理事会 3 回

役員会 15 回

行 事

- ・駅前周辺美化作業
- ・湯前町文化祭 生涯学習 13 講座・文化部会 11 部会
- ・研修会 1 回
- ・球磨郡文化協会交流会 1 回

(5) 湯前まんが美術館事業の充実

① 美術館事業等

湯前まんが美術館が収蔵する、郷土の漫画家・那須良輔の原画資料を中心とした常設展示を 3 回開催、その他広く現代のマンガ・アニメをテーマにした特別展示を 5 回開催した。

令和 6 年度は一部休館期間を挟んでまんが美術館の改修工事を実施しました。展示室（特別展示室）及び収蔵庫の拡張、設備改善（24 時間湿度管理システムの導入）を行いました。また、館内全体、照明設備の改修（LED 化）、床面の張替え（土足化）を行いました。

アーカイブ事業では紙目録に整理されている那須良輔原画作品のデジタルアーカイブ（データ目録への入力・スキャン作業）を行い、令和 6 年度末時点で、全原画資料のうちデータ入力が完了したのは 72%、スキャンが終了したのは 80%です。

湯前町内の小・中学生を対象に第 2 回学習マンガイラストコンテスト in ゆのまえを実施しました。「学びになったマンガ」をテーマに募集を行い、入賞作品を選出するとともに、美術館での展示を行った。令和 5 年度の応募総数が 73 点

に対し、令和6年度は104点と応募が大幅に増加した。小・中学校図書室への学習マンガの貸出や、社会科見学の受け入れ、美術館におけるワークショップ開催など、過年度より継続して取り組んできた普及活動が背景にあると考えられます。

湯前まんが美術館に収蔵されている那須良輔原画作品を実際に見て、触れて、高精細スキャナーでデジタルアーカイブした後、額装、展示までを体験者自身に行っていただく「湯前まんが美術館 一日おしごと体験」プログラムを、来館者向けに無料で実施しました。デジタルアーカイブされた画像が、美術館における展示や収蔵品目録作成に活用されていくことを実感できるよう、学芸スタッフが付き添い解説しました。

○令和6年度湯前まんが美術館利用状況

(単位：人・円)

区分	観覧者数						観覧料		
	大人	小人	団体	免除	町民	計	令和6年度	令和5年度	令和4年度
4月	24	2	0	129	4	159	7,400	28,100	22,200
5月	0	0	0	196	1	197	0	53,620	60,910
6月	0	0	0	1	0	1	0	32,800	29,360
7月	0	0	0	0	0	0	0	33,300	27,700
8月	0	0	0	0	0	0	0	87,700	81,300
9月	0	0	0	0	0	0	0	42,000	42,600
10月	0	0	0	3	0	3	0	41,660	36,100
11月	3199	268	0	333	199	3999	2,319,700	113,400	23,900
12月	2146	213	0	165	162	2686	1,566,100	14,000	24,050
1月	100	11	0	40	1	152	31,100	32,700	35,900
2月	148	15	0	64	14	241	45,900	33,800	17,900
3月	380	61	0	160	68	669	120,100	47,500	43,600
合計	5,997	570	0	1,091	449	8,107	4,090,300	560,580	445,520

○主な事業費明細

(単位：千円)

区分	事業名	事業費	事業費の財源内訳			
			特定財源			一般財源
			国県支出金	地方債	その他	
学校教育	地域と学校の連携・協働体制構築事業	473	312	0	0	161
	小中学生英語検定補助事業	135	13	0	0	122
	小中学生入学祝金	540	0	0	0	540
	小中学生修学旅行補助事業	750	0	0	0	750
	学校給食費補助事業	12,603	0	12,300	0	303
	高等学校等通学費補助事業	1,500	0	0	0	1,500
	特別支援教育就学奨励費補助事業	596	283	0	0	313
	小計	16,597	608	12,300	0	3,689
社会教育	分館施設及び活動振興事業	2,465	0	0	0	2,465
	生涯学習事業	1,803	0	0	0	1,803
	青少年健全育成事業	200	0	0	0	200
	地域コミュニティ活性化事業	486	0	0	0	486
	地域人権教育指導員設置費補助事業	3,306	1,083	0	1,482	741
	社会教育施設整備事業（美術館・公民館改修他） （繰越含む）	101,205	0	50,800	42,542	7,863
	小計	109,465	1,083	50,800	44,024	13,558
体育会	社会体育振興事業	4,623	0	0	0	4,623
	各種大会負担金（奥球磨大会・自転車競技大会）	2,734	0	0	0	2,734
	小計	7,357	0	0	0	7,357
文化財保護と文化振興	下里御大師堂周辺整備事業（繰越）	28,462	14,151	14,100	0	211
	明導寺阿弥陀堂屋根修理・九重石塔耐震対策事業	880	0	0	0	880
	地域文化財振興補助事業	891	0	0	0	891
	アニメ「夏目友人帳」15周年記念展事業	10,628	0	0	0	10,628
	近現代漫画家記念館共同巡回展事業（準備年度）	1,042	0	0	694	348
	小計	41,903	14,151	14,100	694	12,958

5 総括

(令和6年度一般会計決算書の主要な施策の成果より)

(総括)

国内の状況は、令和5年に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う景気回復が進んだほか、長引く円安はインバウンド需要が増加したなど良い面があったものの、物価高騰の原因となり顕著な社会問題となりました。また、令和6年1月に発生した能登半島地震では石川県などに大きな被害が出るなど、防災減災対策の必要性を改めて認識させられたほか、政府から自治体情報システムの標準化・共通化が求められ、DX化に向けてシステム移行に取り組んだ年となりました。

加速する少子高齢化、年々激甚化する災害や疫病、地方創生の推進と急激な社会の変化など、私たちを取り巻く時代の潮流は、これまでの予想をはるかに上回る勢いで進んできており、これに合わせて町民が求める価値観や生活意識も変化しています。

こうした時代の変化をとらえ、新しい時代へのまちづくりの展開を図るために、令和6年度から令和9年度までの4年間のまちづくりの指針となる第6次湯前町総合計画の基本計画後期（令和6年度～9年度）を策定、「マイホームタウン ゆのまえ ～人と自然と歴史が調和し、未来を創造する町」という将来像の実現をめざし、各基本施策の推進を図りながら、質の高い行政サービスを必要最小限の費用で提供する効果的・効率的な行政運営の実現に向けて取り組みました。

財政面では、令和6年度一般会計においては、歳入総額5,208,600千円、歳出総額4,867,897千円となり、翌年度に繰越すべき財源94,712千円を差し引いた実質収支額は、245,991千円の黒字決算となり、実質収支比率は22.79%と健全な数値となりました。また、令和6年度実質収支額245,991千円から令和5年度実質収支額482,237千円を差し引いた単年度収支額は236,246千円の赤字となりました。

次に、財政健全化の指標からみる①実質赤字比率、②連結実質赤字比率ともに黒字であり、③実質公債費比率5.7%、④将来負担比率はマイナスでいずれも健全化判断比率を下回り、おおむね健全化であるという結果になりました。

次に、財政の柔軟性を示す経常収支比率は、3.4ポイント上がり、89.1%となりました。これは、人件費や物件費等の増加が主な要因でありました。

Ⅲ 指標と達成状況一覧

1 学校教育の振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状 (令和 4 年度)	令和 9 年度目標値
小中一貫教育に対する保護者の満足度 (第二期総合戦略より)	78.7%	80.0%
地域学校協働活動参加者数	902人	900人

2 社会教育の振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状 (令和 4 年度)	令和 9 年度目標値
生涯学習講座の参加者数	153人	250人
図書館利用者数	594人	1,500人

3 社会体育の振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状 (令和 4 年度)	令和 9 年度目標値
人口に対するスポーツ団体への加入率	11.2%	15.0%

4 文化財保護と文化振興

■目標値

将来の姿を表す指標	現 状 (令和 4 年度)	令和 9 年度目標値
湯前まんが美術館の入館者数	2,477人	7,000人
文化財行政・文化財の保存活用 に対する住民満足度 ※ (満足 + どちらかといえば満足)	43%	45%

※湯前町まちづくりアンケートより

総合計画検証資料（達成状況）

第5章 地域をつなぐ人づくり

判定

A・・・76~100%以上 B・・・51~75% C・・・26~50% D・・・0~25%

将来の姿を現す指標		基準値	令和4年度 (実績値)	令和5年度 (実績値)	令和6年度 (実績値)	目標値	進捗率	判定
学校教育の振興	小中一貫教育に対する保護者の満足度	—	78.7%	79.1%	95%	75.0%	126.7%	A
	検証および今後の方針	これまでの伝統芸能活動において功績が認められ、芸術賞受賞することができた。また、芸術鑑賞・文化祭・合唱祭等の小・中合同の行事も増え交流事業が充実してきたことにより多くの保護者が肯定的な意見であった。今後も引き続き、ホームページ・町の広報等を活用し、保護者・住民へ取り組みの周知を行っていく。						
	地域学校協働活動参加者数	—	902人	490人	458	600人	76.3%	A
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	職場体験は、地域の方の協力により更に充実した活動となり、社会貢献として町民体育祭の生徒の参加や協力により地域の方にも喜ばれる活動となった。実績値は下がったが内容は充実したものになり令和7年度は活動した状況を広報誌に掲載し地域と学校が協働する活動の普及に努め地域の協力体制の構築を図りたい。						
社会教育の振興	生涯学習講座の参加者数	185人	153人	144人	139人	245人	56.7%	B
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	生涯学習の講座種・受講者が固定化・縮小しているため、特別講座を開催し、新たな生涯学習機会の拡充を図る。						
	図書館利用者数	837人	594人	654人	565人	1,500人	37.7%	C
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	中央公民館内図書室利用者は図書貸出利用者数で算定。町内公共施設や周辺図書館へ情報公開を行い利用促進と登録者の増加を図る。						
社会体育の振興	人口に対するスポーツ団体への加入率	15.0%	11.2%	11.1%	11.6%	17%	68.2%	B
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	総合型地域スポーツクラブは子どもから高齢者までそれぞれの志向に合わせて多種目のスポーツに参加でき、クラブ会員数も微増している。一方体育協会の加入者は年々減少していることから、協会の目的や活動状況など住民へ周知するための広報活動の支援を行っていく。						
文化財保護と文化振興	湯前まんが美術館の入館者数	2,793人	2,477人	2,802人	8,107人	5,300人	153%	A
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	湯前まんが美術館では内装を中心とする改修工事を行い、教育課事務室を中央公民館棟に移し、展示室に改修したほか、床や照明のリニューアルを行った。改修工事に伴う休館期間があったものの、再開館後に開催した特別展「アニメ夏目友人帳15周年記念展」では日本のみならず海外からも夏目友人帳ファンが多く訪れ、過去2番目の集客数となった。今後も魅力ある展示を行い、まんが文化を全国に発信するとともに、町民に親しまれる美術館づくりを進めていく。						
	文化財行政・文化財保存活用に対する住民満足度	25.0%	—	43%	—	35%	—	—
	総合計画（前期計画）期間の検証および今後の方針	※令和6年度、住民満足度のデータなし。 令和6年度に20年目を迎えた湯前中学校の伝統芸能継承活動が評価され「古典の日文化基金賞未来賞」を受賞した。下里御大師堂周辺整備事業では、休憩所の新築工事、公園整備工事（第1期）を実施した。令和7年度に引き続き公園整備工事（第2期）を行う。また町指定文化財下町橋の補修工事も完了し、石造高欄も復元され、良好な景観がよみがえった。城泉寺の屋根修理・九重石塔耐震対策に向けた基本設計に着手した。未指定文化財等の調査が今後の課題となっている。今後も住民・関係者と連携しながら、文化財保護を推進していく。						

IV 学識経験者意見

※ ◎評価 ■今後の方向性等 ▲課題

項目	事項	意見
学校教育の振興	校内研修の充実と学力向上	◎小学校においては、研修目的を達成するため基本方針の内容を細かく定めることにより資質の向上に努められているとともに、中学校においては、生徒に視線を重く置いた研修施策を実施されており、研修の成果を得られていると思われます。
	小中一貫教育 地域と共にある学校づくり	◎小中一貫教育では（乗り入れ授業・行事等の交流等）子どもたちの学習意欲・学力向上に大きな効果を上げており高く評価します。 ◎各種行事の合同開催や交流事業など積極的に取り組まれており、小中学生相互の理解が深まり有意義な事業である。特に小学校から中学校へのスムーズな移行にもつながっている。 ◎■今後も各種行事の合同開催や交流授業や、乗り入れ授業、地域とともにある学校づくりは継続してほしい。 ■地域とともにある学校づくりにおいては、学校、家族及び地域住民相互の連携・協働については重要であり、学校を核とした事業を計画、実行されており、引き続き計画・実行していただきたい。 ■▲毎年学校では、保護者と子どもたちで除草作業を行っているが、参加者だけでは作業がはかどらない。学校は地域のシンボルであるとの考えのもとで、学校関係者だけでなく、地域全体での取り組みを願う。 ◎事業成果について、高評価が得られていると思われる。今後も継続してほしい。
	人権教育の推進 GIGA スクール	■人権教育については、見過ごされる事項ではありますが重要な教育であり引き続き計画・実施していただきたい。 ◎■GIGA スクール構想の取り組みとして、児童生徒1人1台のタブレット端末の整備、各教室の電子黒板の配備や学習支援ソフトウェアを導入してのICT教育の充実が図られ、授業中は先生の管理のもと、児童生徒の活用内容が把握できている様子である。また不登校の児童生徒に対してはオンライン授業がされている。次回の機器更新では、アップル社のタブレットへの統一を願う。 ◎■GIGA スクールの取り組みは、電子黒板・タブレットの導入で授業・家庭学習に重要な役割を果たしています。それに伴う子どもたちの身体への影響も配慮しての指導をお願いしたい。
	学校給食 食育事業の推進	◎給食時間も授業の一環として、「生きた教材」として学校教育活動に取り組まれている。今後も児童生徒に対して取り組んでほしい。 ◎■物価高騰の中に厳しい状況ではあると思われるが、今後も地元食材の活用を願いたい。野菜の栽培への関心を持たせるような専門職による食育指導を継続いただきたい。 ■学校給食全額補助になり、食材費も高騰し大変でしょうが、今後も安心安全な給食の提供をお願いしたい。 ◎■食育の推進においては給食に小学5年生が栽培したもち米を給食で使用するとともに野菜・米の栽培活動は児童・生徒たちの食に対する意識を高める取り組みであり、引き続き実施してもらいたい。また、食材費の高騰に対しては適正な対策をしていただきたい。

<p>社会教育の振興</p>	<p>公民分館活動の振興</p> <p>生涯学習</p> <p>読書活動の推進</p>	<p>◎■分館活動が減少傾向にある。活動を通して体力向上、健康維持に生きがいづくりに、今後もつとめて欲しい。</p> <p>■分館施設整備補助金、地域コミュニティ活性化補助金について、各分館がどのような整備等に活用されたのかを広報等で周知が必要と思われる。(区長等の役員は知っているが、地域住民は知られていないと思われる。)</p> <p>▲地域のコミュニティを図るためには、分館活動が重要であり各分館の活性化を図るための施策が必要である。</p> <p>◎■生涯学習は昨年度より 2 講座増加し 15 講座開催されており、知識、やりがい、仲間づくりに高い効果があり継続していただきたい。</p> <p>◎■図書交流棟は小さい子どもから高齢者までどの年代でも利用しやすい施設として整備されており、今後も利用促進・広報を図っていただきたい。</p> <p>◎■読書活動の推進においては、図書交流棟は小さい子どもから高齢者までどの年代でも利用しやすい施設として整備され評価する。また、婦人会から提供されたクッションの利用もされていると報告を受け、今後とも町民の皆さんがくつろげる場所、ふれあいの場所として利用できることを期待する。</p>
<p>社会体育の振興</p>	<p>各種競技大会</p> <p>総合運動クラブ</p> <p>スポーツ活性化事業</p> <p>B&G 関連事業</p> <p>部活動の地域移行</p>	<p>▲町民体育祭や球技大会など各種社会体育事業を実施されているが年々参加者が減少している状況であり、特に気候の変動により農業の繁忙期が変化しており、球技大会の実施時期(月)を検討する必要があると考える。</p> <p>▲■部活動が社会体育移行する中、総合型スポーツクラブ「だんだん」に参加している子どもたちの体力が向上しているのか危惧される。</p> <p>▲小学校で実施されている「総合運動クラブ」は、地域指導者により実施されているが、指導者の減少により個人への負担が大きく、対策を図る必要がある。</p> <p>◎スポーツコミュニティ活性化事業では、資源を活用し、良い取り組みができていると思うため継続していただきたい。</p> <p>◎■B&G 関連事業において、水難事故防止を目的に「水辺の安全教室」を小中学校全児童生徒を対象に実施された事業は、非常に良い取り組みであり、引き続き継続を図っていただきたい。</p> <p>◎中学校部活動の地域移行に伴い、総合型地域スポーツクラブ「だんだん」の役割が重要になってくると思う。スムーズな移行に向けて指導員の方々の協力をよろしく願いするとともに、指導者育成に向けてもご検討をお願いしたい。</p> <p>■また、中学校部活の地域移行については、県・郡内の状況を確認していただき、湯前の現状把握、地域クラブ等との調整・検討を進めていた</p>

	体育施設の整備	<p>だきたい。</p> <p>■▲海洋センタートレーニングルーム活用について、利用者は、自分のペースで体力向上に努めていると思われるが、トレーニング機材を増やしてほしいとの声も聞こえるので対応してほしい。</p>
文化財保護と文化振興	文化財の保存活用 まんが美術館事業	<p>■下里御大師保存の修理工事が完了。町全体の文化財に対して地域の取り組みがされていると思われる。「町の宝物」を感心されるような PR を今後も取り組んでほしい。</p> <p>◎■文化財建造物が多く存在しており計画的に整備されており、今後も保存修理を計画的に継続していただきたい。</p> <p>▲文化財保護意識の向上で、令和4年度はアンケートを実施。今後のアンケート調査の実施についても検討いただきたい。</p> <p>◎■協力隊が主体になりワークショップ、SNS 活用し、情報発信し、新事業が施行され、イベントなども新しい取り組みにより観覧者等も増えていると思われる。今後も漫画の町として新しい企画に期待したい。</p> <p>※美術館という硬いイメージとの声もある。</p> <p>◎■まんが美術館の事業の充実では、那須良輔作品のデジタルアーカイブ 80%終了。高く評価します。100%アーカイブ化に期待する。</p> <p>◎漫画美術館事業については、色々な取り組みをされており、湯前町の「まんがの町」PR に寄与していると思われ高く評価したい。</p>
総括	<p>教育委員会事務事業については、業務が多種多様で計画的な取り組みが重要であります が、その業務を皆計画的にかつ前向きに実行されていると評価する。</p> <p>人と自然と歴史が調和した、未来を創造する町づくり実現のため、行政運営の取り組み、 また、広く町民の皆さんの意見も取り入れ（地区別座談会等）楽しく、住みやすい街づくり を目指して頂きたい。</p>	

V 資料等

教育費決算額の対前年推移

単位:千円

教育費			項	R5(決算)			R6(決算)			対前年	
R5(決算)	R6(決算)	対前年		R5(決算)	R6(決算)	対前年	R5(決算)	R6(決算)	対前年		
364,211	438,615	74,403	教育総務費	88,952	47,150	-41,802	教育委員会費	622,852	546,544	▲ 76,308	
				事務局費	45,648,544	46,603,223	954,679	学校施設整備費	42,680,290	0,000	▲ 42,680,290
				小学校費	44,312	54,955	10,643	学校管理費(小)	42,440,372	51,721,415	9,281,043
			中学校費	36,076	42,645	6,569	教育振興費	1,871,261	3,233,147	1,361,886	
							学校管理費(中)	34,959,806	40,439,250	5,479,444	
			社会教育費	88,444	201,104	112,659	教育振興費	1,116,059	2,205,849	1,089,790	
							社会教育総務費	27,384,403	126,806,370	99,421,967	
							公民館費	11,624,831	12,520,473	895,642	
			保健体育費	106,428	92,761	-13,666	文化財保護費	28,837,769	32,517,837	3,680,068	
							美術館費	20,597,488	29,259,135	8,661,647	
							保健体育総務費	26,924,694	33,209,788	6,285,094	
							体育施設費	42,147,697	17,285,365	▲ 24,862,332	
			給食費	37,355,162	42,266,278	4,911,116					



教育費につきましては、予算現額 5 億 3,639 万 6 千円に対し、4 億 3,861 万 4,674 円を支出しました。

また、年度内完了が困難であるため、項 4 社会教育費・目 1 社会教育総務費において、美術館改修等の社会教育施設整備事業費 6,341 万円、目 3 文化財保護費において、下里御大師堂周辺整備事業 2,212 万円の合計 8,553 万円を繰越しております。そのため、執行率は 81.8%、歳出総額に占める割合は、9%となります。

歳出合計は、令和 5 年度に対し 7,440 万 3,446 円の増となりました。その主な要因は、体育施設費で対前年 2,100 万 2 千円の減がありましたが、社会教育総務費のまんが美術館他改修工事で対前年 1 億 120 万 4 千円、文化財保護費で下里御大師堂関係事業の対前年 799 万 1 千円の増などとなります。

1 教育総務費 対前年：▲41,802 千円

項	R5(決算)			目	R5(決算)		
	R6(決算)	対前年	R5(決算)		R6(決算)	対前年	
教育総務費	88,952	47,150	-41,802	教育委員会費	623	547	-76
				事務局費	45,649	46,603	955
				学校施設整備費	42,680	0	-42,680

(1) 教育委員会費

教育委員会費は対前年で 76 千円の減、教育委員会会議及び研修会への委員欠席が主な減の事由。

(2) 事務局費

事務局費は対前年で 955 千円の増。人件費及び使用料及び賃借料の増が主な事由で、学習 AI ソフト使用料 782 千円が純増。

(3) 学校施設整備費

令和 6 年度学校施設整備は実施なし

2 小学校費 対前年：10,643 千円

項	R5(決算)			目	R5(決算)		
	R6(決算)	対前年	R5(決算)		R6(決算)	対前年	
小学校費	44,312	54,955	10,643	学校管理費(小)	42,440	51,721	9,281
				教育振興費	1,871	3,233	1,362

小学校費では、会計年度任用職員 8 名の人件費増 6,941 千円、需用費で教科書改訂費 4,046 千円の増、使用料及び賃借料で ICT 関連機器 1,597 千円の減があり、総体的に対前年で 9,282 千円の増となった。

教育振興費では、準要保護、特別支援教育奨励費の対象児童数の増加と、歳入で受け入れた指定寄附を PTA 活動補助金として 1,000 千円支出、対前年で 1,362 千円の増となった。

3 中学校費 対前年：6,569 千円

項	目					
	R5(決算)	R6(決算)	対前年			
中学校費	36,076	42,645	6,569			
				学校管理費(中)	34,960	40,439
			教育振興費	1,116	2,206	1,090

中学校費では、会計年度任用職員 1 名増の 6 名の人件費増 4,756 千円、需用費のうち光熱水費・修繕料が対前年で 679 千円の増、備品購入費で 401 千円の増があり、総体的に対前年で 5,480 千円の増となった。

教育振興費は、伝統芸能継承活動においてプロの演奏家による和楽器制作および演奏指導に関する経費として 388 千円支出、扶助費は対象生徒数が増加し 398 千円の増、総体的に対前年で 1,090 千円の増となった。

4 社会教育費 対前年：112,659 千円

項	目						
	R5(決算)	R6(決算)	対前年				
社会教育費	88,444	201,104	112,659				
				社会教育総務費	27,384	126,806	99,422
				公民館費	11,625	12,520	896
				文化財保護費	28,838	32,518	3,680
			美術館費	20,597	29,259	8,662	

(1) 社会教育総務費

社会教育総務費では、会計年度任用職員、人事異動に伴う人件費の増で対前年 2,647 千円の増、令和 5 年度からの繰越事業分の社会教育施設整備事業設計監理業務委託料 14,752 千円と工事費 64,863 千円及び社会教育施設整備工事費（設備工事）21,590 千円が純増となり、総額で 99,422 千円の増となった。

(2) 公民館費

公民館費では、公民分館長謝金対前年で 167 千円の増、需用費で燃料費、光熱水費及び修繕料等対前年で 390 千円の増、委託料で 217 千円の増、使用料及び賃借料▲232 千円の減、公民分館施設整備補助金で対前年▲748 千円の減、負担金補助及び交付金で 317 千円増となり、総額で 896 千円の増となった。

(3) 文化財保護費

文化財保護費では、下里御大師堂公園整備工事設計業務が完了し委託料で▲4,587 千円の減、負担金補助及び交付金は地域文化財振興補助金で▲1,058 千円の減、令和 5 年度からの繰越事業では下里御大師堂保存修復工事及び明導寺防災設備改修工事完了で▲20,470 千円の減、御大師堂公園休憩所建築工事監理業務委託料及び工事費で 12,379 千円の増、御大師堂公園整備工事 16,083 千円の

増、現年度予算で対前年▲4,311千円の減、繰越明許は対前年で7,991千円の増となり、総額で3,680千円の増となった。

(4) 美術館費

美術館費では、会計年度任用職員（地域おこし協力隊含む）の人件費2,926千円の増、報償費で▲950千円の減、旅費で▲798千円の減、需用費、消耗品費は特別展開催に伴う販売用グッズ購入で1,278千円の増、委託料は美術館特別展事業委託料（特別展パッケージ等制作委託）で8,863千円の純増、備品購入費で▲2,999千円の減、負担金補助及び交付金で270千円の増、総体的に美術館費は対前年で11,661千円の増となった。

5 保健体育費 対前年：▲13,666千円

項	目						
	R5(決算)	R6(決算)	対前年				
保健体育費	106,428	92,761	-13,666	保健体育総務費	26,925	33,210	6,285
				体育施設費	42,148	17,285	-24,862
				給食費	37,355	42,266	4,911

(1) 保健体育総務費

保健体育総務費では、職員人件費及び地域おこし協力隊費用で8,724千円の増、スポーツコミュニティ活性化事業委託料で対前年▲544千円の減、負担金補助及び交付金で公認奥球磨ロードレース大会負担金▲3,320千円の減があり、総額で対前年6,286千円の増となった。

(2) 体育施設費

体育施設費では、会計年度任用職員に係る人件費で915千円の増、需用費修繕料でプール濾過機濾材交換で1,139千円の増、令和5年度は工事請負費で社会体育施設総合整備事業改修工事費及び町民グラウンドトイレ改修を実施したことで対前年▲6,086千円の減、また、令和5年度は繰越明許で工事費を支出したため▲21,002千円の減、総体的に対前年で▲24,862千円の減となった。

(3) 給食費

給食費では、需用費で光熱水費と修繕料など対前年422千円の増、委託料で対前年1,083千円の増、原材料費で令和5年度県補助事業を活用して学校給食用米（ぴかまる）の提供回数を倍増したが、令和6年度は町単独事業となり提供回数を減らしたため対前年▲271千円の減、また、令和5年度2学期から給食費無償化、令和6年度は年度当初からの取り組みとなり、対前年4,340千円の増、学校給食安定供給支援事業補助金▲933千円、総体的に対前年で4,912千円の増となった。